

陳 情 書

首都圏地域においてわが国政治経済活動の中核的位置を占める神奈川県地域開発は、近年ますますいちじるしく、中でも首都圏の圏内にある湘南及び県央地域の当3市4町（茅ヶ崎市、相模原市、厚木市、寒川町、海老名町、座間町及び綾瀬町）は特に産業と人口の集中をもたらし、県下でもつとも高い伸張を示しております。

このため、国鉄相模線の輸送量は、日々激増の一途をたどり、すでに一部駅では乗り残しさえ出ている事態で、これが打開発の実施は、いまや一刻の猶予も許されない実情にあります。

しかも、県央地域への工業集中化、沿線各市町への集団住宅団地の造成等には相模川総合開発などによつて相模線の輸送量増加は避けられないこと明白であり、ここに本路線が占める鉄道輸送の役割は、いよいよもつて重要視されるに至りました。

このときにあたり、相模線鉄道輸送力の増強を図ることがわれわれに課せられた県下の急務である事実にかんがみ、ここに沿線全市町を打つて一丸とした「相模線電化複線促進期成会設立総会」を開催し、ご当局に強く要請することになりました。

各位におかれましては、本会設立総会における下記要請決議事

案につき一日も早くこの具体化をはかられますよう、格別の御高配を賜わりたく、同総会の宣言、決議等を添え、ここに陳情いたします。

記

- 1 増結増発ならびに電化複線化  
バス路線の新設増強に見合つた輸送計画の確立
- 2 駅舎の整備  
沿線各駅の整備
- 3 中間駅の新設等
  - (1) 北茅ヶ崎～香川間（円藤駅）
  - (2) 小田急線海老名駅との連絡駅
  - (3) 旧上今泉駅の復活
  - (4) 旧作ノ口駅の復活
  - (5) 旧西浦駅の復活
  - (6) 入谷駅の移設

以上

昭和40年11月29日

国鉄総裁  
東支社長  
東鉄管理局長  
八王子管理所長

相模線電化複線促進期成会会長

相模原市長 高 沢 勇 吉